

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 12 月 25 日(月) ~ 平成 19 年 1 月 9 日(火))

平成 19 年 1 月 10 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する海外の動向

12 月 20 日(水)

- ソユーズ 2/フレガトロケット、通信衛星の打ち上げに成功【露】
報道によると、12 月 24 日(日)8 時 34 分(世界標準時)、ロシアはプレセック射場よりソユーズ 2/フレガトロケットを打ち上げ、通信衛星「メリディアン(Meridian)」の軌道投入に成功した。本衛星は、北海領域で氷原調査に従事する船舶・航空機と沿岸基地間の通信確保、シベリア・極東地域の通信ネットワークの拡大を目的としている。

12 月 26 日(火)

- 韓国、宇宙飛行士候補者 2 名を発表【韓】
12 月 25 日(月)(現地時間)、韓国科学技術部(MOST)と韓国航空宇宙研究所(KARI)は、同国初の宇宙飛行士候補者 2 名に、コ・サン(Ko San)氏(30 歳、男性)とイ・ソヨン(Yi So-yeon)氏(28 歳、女性)の 2 名を選抜したと発表した。
コ・サン氏は三星総合技術研究員(SAIT)で人工知能を研究している研究員、イ・ソヨン氏は韓国科学技術院(KAIST)でバイ

オテクノロジー・システムを専攻している博士課程の大学院生。

同 2 名は、来年 3 月からロシアのガガーリン宇宙飛行士訓練センターで約 1 年間訓練を受け、うち 1 名がソユーズに搭乗し、8 日間国際宇宙ステーション(ISS)に滞在し科学実験を行う予定。

- プロトン K/ブロック DM ロケット、航行測位衛星の打ち上げに成功【露】

12 月 25 日(月)20 時 18 分(世界標準時)、ロシアはバイコヌール宇宙基地よりプロトン K/ブロック DM ロケットを打ち上げ、航行測位衛星「グロナス M」3 機の軌道投入に成功した。打ち上げ時の質量は 1 機あたり約 1450 kg。

グロナス(GLONASS, Global Navigation Satellite System)は、現在従来型の「グロナス」衛星 10 機と、設計寿命を 3 年から 7 年以上へ改良した「グロナス M」衛星 5 機との計 15 機で運用されている(今回打ち上げられた 3 機を含む)。ロシアは 2009 年までには、設計寿命 10 年以上のより小型化したグロナス K 衛星も開発し、計 24 機の配置を目指すとしている。

12 月 28 日(木)

- ソユーズ 2-1b/フレガトロケット、天体観測衛星の打ち上げに成功【欧、露】

12 月 27 日(水)14 時 23 分(世界標準時)、スターセム(Starsem)社はバイコヌール宇宙基地よりソユーズ 2-1b/フレガトロケットを打ち上げ、フランス国立宇宙研究センター(CNES)の天体観測衛星「コロロー(Corot)」の軌道投入に成功した。

打ち上げ時の質量は約 605 kg。

スターセム社は、ロシアと欧州の合弁会社で、ソユーズロケットにより主に欧州衛星の商業打ち上げを行っている。

1月5日(金)

- ISRO、月探査ミッション「Chandrayaan-2」を2010～2011年に実施へ 【印】

報道によると、インド宇宙研究機関(ISRO)は、月探査ミッション「Chandrayaan-2」を2010～2011年に実施する予定。同ミッションは、衛星本体と月探査ローバ搭載の着陸用プラットフォームで構成され、月周回軌道到着後、衛星から切り離された同プラットフォームが月面に着陸すると、同ローバがプラットフォームから離れ、月面を移動しながら約1ヶ月間かけて土壌サンプルを収集し、その場で化学分析を行う。同データは、母機の衛星を経由して地球へ送信される予定。

現在 ISRO は月周回衛星「Chandrayaan-1」及び同衛星打ち上げ用ロケット「PSLV-XL」の準備を進めている。同衛星は5日間かけて月周回軌道付近に到着し、月面の詳細データを2年間かけて取得する。Chandrayaan-1 は2008年初頭に打ち上げ予定。